

イベント参加報告

前回の調査報告で記したように、人間発達文化学類の学生が夏（8月）の「自然体験実習」で子どもたちと一緒に歩くハイキングコース沿いの自然観察ガイドを6月4日（土）に実施してきました。黒沢研の遠藤君（M2）、首藤君（D3）、塘の3名がガイド役を務めました。

磐梯青少年交流の家（磐青）の玄関前に11:00に集合し、塘が自然観察のポイントを簡単に説明した後、3つの班に分かれて順次出発しました。途中、ブタナ、シロツメクサ、ムラサキツメクサなどの外来種、ササバギンランのような絶滅危惧種、沢沿いに生えるサワグルミ、葉の形は似ているけれど、手触りが全然違うガマズミとミヤマガマズミ、同じく葉柄の長さが異なるミズナラとコナラ、腐生植物のギンリョウソウなどを観察しながら、天鏡台（昭和の森）を目指しました。リスの作ったエビフライ（元はアカマツの松ぼっくり）、車に轢かれたヤマカガシの遺骸なども観察し、12:30頃までには全班が天鏡台に到着しました。お弁当を頂いた後、磐青目指して再び順次出発し、セイヨウタンポポやハリエンジュ（ニセアカシア）などの外来種、トチノキ、クズ、ワラビなど食べられる植物を観察しながら歩き、14:30頃までには全班が磐青に到着しました（観察したものは塘班に関するもののみ）。クロージングセレモニーとして、ガイドが一人ずつ挨拶し、学生さんからはお礼の言葉を頂き、終了となりました。

ハイキングや自然観察には最高の天気でした。8月の自然体験実習では学生さんたちがガイド役です。今回の経験を活かして、参加した子どもたちに自然のおもしろさを1つでも伝えて頂ければと思います。



ハイキング出発前（磐青内）



天鏡台（昭和の森・芝生広場）



首藤班が天鏡台に到着



遠藤班が天鏡台に到着



猪苗代湖をバックに写真撮影



クロージング・セレモニー